

ラフテレーンクレーン車の構内特殊移動について

No.1 ラフテレーンクレーン車の現場特殊移動

24. アウトリガ不使用時のクレーン操作

24-4 現場内走行 (521A-0052-0J)

24-4-1 現場内移動 (T219861-044-1J)

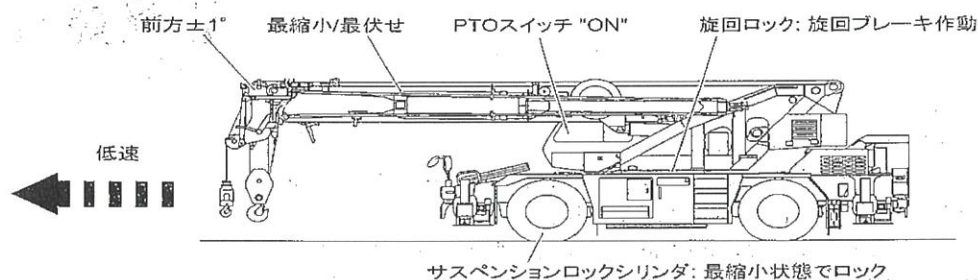
現場内で作業位置を移動する場合は以下の点を厳守してください。

警告

現場内走行姿勢での道路走行は許可されていません。
道路を走行する際には道路走行姿勢に戻してください。

(T217921-135-0J)

- | | |
|-------------|--|
| (1) クレーンの状態 | : 走行姿勢 (ブーム状態: 最縮小および最伏せ、アウトリガ: 格納、ブーム位置: 前方±1°) |
| (2) サスペンション | : サスペンションシリンダ最縮小位置
ロック状態保持 |
| (3) PTOスイッチ | : ON位置 |
| (4) 旋回テーブル | : 旋回ブレーキ作動、旋回ロック使用 |
| (5) 走行スピード | : 低速 |



I221331-459-0J

参考

現場内走行は、上記の状態で行うことを原則としますが、やむを得ず、上記状態以外での現場内移動が必要になった場合には、弊社支店営業所、もしくは、弊社指定サービス工場までお問い合わせください。

警告

- ・ 現場内での走行は徐行とし、誘導員を配置してください。
- ・ 現場内で作業位置を変更するための移動はクレーン作業の範ちゅうに入ります。したがって走行であってもサスペンションのロック状態を保ってください。この他PTOスイッチも "ON" 位置に保ちます。
- ・ 現場内で状況によりやむをえず、サスペンションフリー状態 (道路走行) やPTOスイッチ "OFF" での移動を行った場合、次の作業場所でサスペンションロック操作を忘れるおそれがあります。
次の作業をする前に必ずサスペンションシリンダ最縮小位置でロックしてください。

No2 ラフテレーンクレーン車ジブ付特殊移動条件は機種により異なります
取扱説明書を参照願います (2 軸車両参考)

24-4-2 現場内作業姿勢移動 (T221331-136-0J)

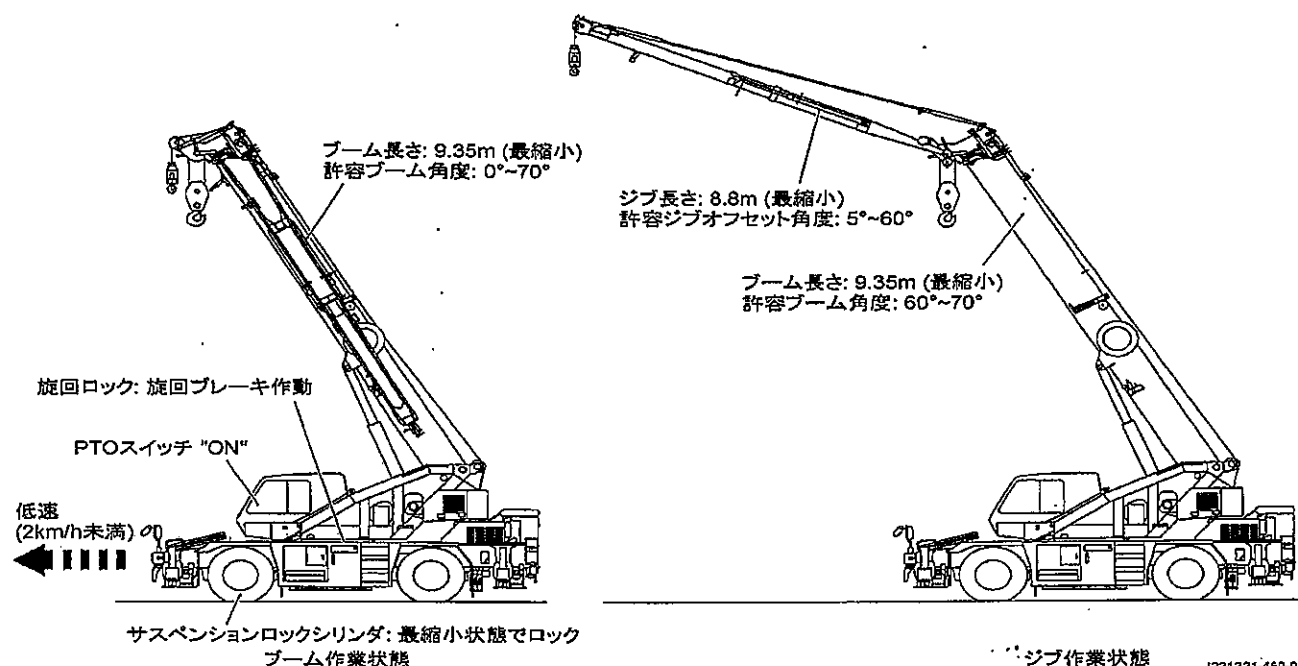
現場内でやむを得ずクレーンを作業姿勢にしたまま作業位置を移動する場合は以下の点を厳守してください。

⚠ 危険

現場内走行姿勢での道路走行は許可されていません。
道路を走行する際には道路走行姿勢に戻してください。

(541A-0203-1J)

- (1) クレーンの状態: 走行姿勢 (ブーム状態: 許容ブーム角度範囲、アウトリガ: 格納、
ブーム位置: 前方±1°)
- (2) サスペンション: サスペンションシリンダ最縮小
ロック状態保持
- (3) PTOスイッチ : ON位置
- (4) 旋回デブール : 旋回ブレーキ作動、旋回ロック使用
- (5) 走行スピード : 低速 (2km/h未満)



⚠ 警告

- ・現場内で作業位置を変更するための移動はクレーン作業の範ちゅうに入ります。したがって走行であってもサスペンションのロック状態を保ってください。この他PTOスイッチも "ON" 位置に保ちます。
- ・サスペンションフリー状態 (道路走行) やPTOスイッチ "OFF" での移動を行った場合、次の作業場所でサスペンション最縮小操作を忘れるおそれがあります。次の作業をする前に必ずサスペンション最縮小位置でロックしてください。

No.2 ラフテレーンクレーン車ジブ付特殊移動条件は機種により異なります
取扱説明書を参照願います (4 軸車両参考)

2 4. アウトリガー不使用時のクレーン操作

24-4-2 現場内作業姿勢移動 (T221221-053-0J)

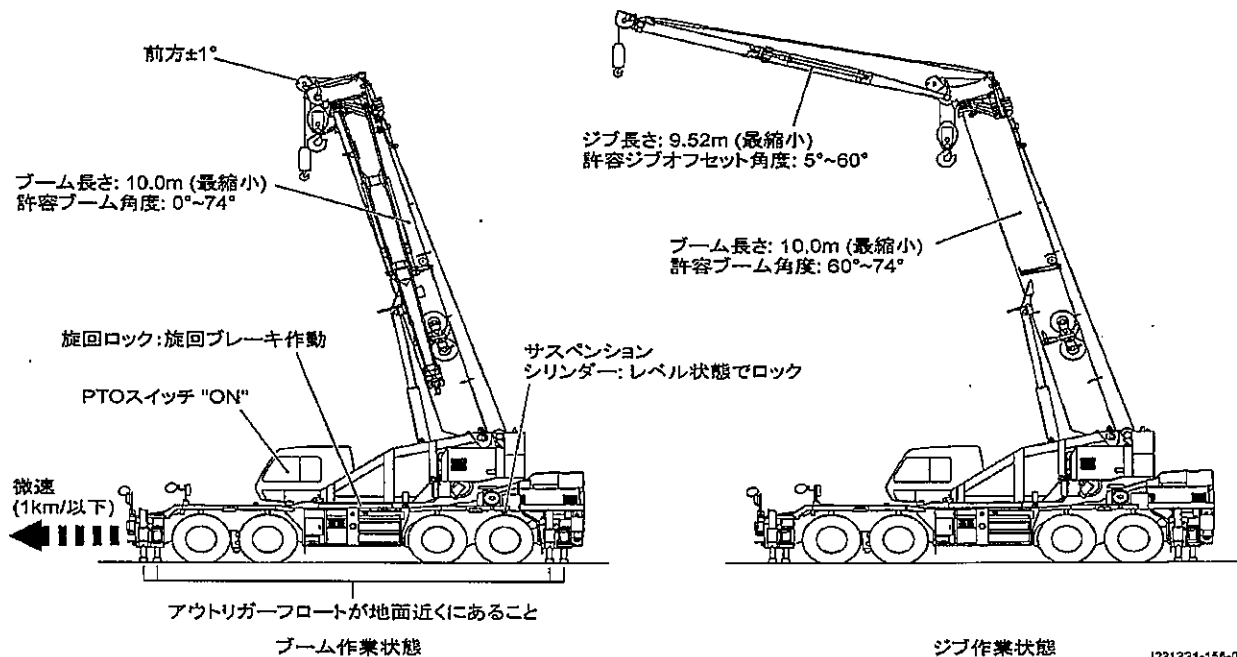
現場内でやむを得ずクレーンを作業姿勢にしたまま作業位置を移動する場合は以下の点を厳守してください。

⚠ 危 険

現場内走行姿勢での道路走行は許可されていません。
道路を走行する際には道路走行姿勢に戻してください。

(541A-0203-1J)

- (1) クレーンの状態 : 走行姿勢
(ブーム状態: 許容ブーム角度範囲、アウトリガー: 全張出状態、ブーム位置: 前方±1°)
- (2) サスペンション : サスペンションシリンダーレベル位置
ロック状態保持
- (3) PTOスイッチ : ON位置
- (4) 旋回テーブル : 旋回ブレーキ作動、旋回ロック使用
- (5) 走行スピード : 微速 (1km/h以下)
- (6) カウンタウエイト: 無 (SL-850RfⅢのみ)



⚠ 警 告

- ・ 現場内で作業位置を変更するための移動はクレーン作業の範ちゅうに入ります。したがって走行であってもサスペンションのロック状態を保ってください。この他PTOスイッチも "ON" 位置に保ちます。
- ・ サスペンションフリー状態 (道路走行) やPTOスイッチ "OFF" での移動を行った場合、次の作業場所でサスペンションレベルロック操作を忘れるおそれがあります。次の作業をする前に必ずサスペンションレベル位置でロックしてください。

(541A-0204-1J)